

分担研究報告書

患者ケア標準書の作成（神経内科）

研究分担者 井川 正道 福井大学 講師

研究要旨

ミトコンドリア病における「患者ケア標準書」（特に脳神経内科領域における）の作成を行い、診療の標準化を図る。

A. 研究目的

ミトコンドリア病は希少疾患であり多彩で多臓器に及ぶ症状を呈するため、診療には専門的な知識や経験が必要である。診療の標準化には「患者ケア標準書」の策定が有効である。本研究では「患者ケア標準書」の作成を目的とする。

B. 研究方法

以前に刊行した「ミトコンドリア病診療マニュアル2017」を踏まえ「患者ケア標準書」の作成を行う。特に専門領域である脳神経内科領域を中心に担当する。

（倫理面への配慮）

「患者ケア標準書」の作成を目的とするため、倫理審査は不要である。

C. 研究結果

「患者ケア標準書」の作成に向けて、ミトコンドリア病の一病型であるMERRFの項目を担当し、クリニカルクエスチョンごとに内容を策定した。現在、査読の段階であり、来年度の刊行を目指す。

D. 考察

「患者ケア標準書」の作成によって、ミトコンドリア病診療の標準化を図る。

E. 結論

引き続き「患者ケア標準書」の作成を行う。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

井川正道. ミトコンドリア病. In: 今日の治療指針2023. 医学書院（東京）. 2023:987.

Okazawa H, Ikawa M, et al. Cerebral Oxidative Stress in Early Alzheimer's Disease Evaluated by <sup>64</sup>Cu-ATSM PET/MRI: A Preliminary Study. Antioxidants (Basel). 2022;11:1022.

Kitazaki Y, Ikawa M, et al. Regional cortical hypoperfusion and atrophy correlate with striatal dopaminergic loss in Parkinson's disease: a study using arterial spin

labeling MR perfusion.

Neuroradiology. 2023;65:569-577.

2. 学会発表

井川正道, 他. アルツハイマー病患者における酸化ストレスPETイメージング. 第21回日本ミトコンドリア学会年会. 2023年3月, 東京.

Ikawa M, et al. Regional cortical hypoperfusion and atrophy correlated with dopaminergic loss in Parkinson's disease. 第63回日本神経学会学術大会. 2022年5月, 東京.

H. 知的財産権の出願・登録状況

（予定を含む。）

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし